

かたつむい通信



令和2年度 第4号2021年1月発行

エコライフめぐろ推進協会 事務局長より 年始のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えいただけていることと存じます。令和3年年初にあたりご挨拶申し上げます。

さて、令和2年は新型コロナウイルス禍の一年でした。この影響で、数多くのエコライフめぐろ推進協会事業もやむなく中止や延期となりました。ようやく夏頃から一部ではありますが感染対策を取りつつ実施できるようになりました。新しい日常とともに、細心の注意をもって対応しているところです。この間の皆様からのご協力にあらためて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

また昨年は、新型コロナウイルス感染のパンデミックにより第26回気候変動枠組条約締結国会議（COP26）が2021年11月に延期となってしまいました。COP25から先送りされ課題であった温室効果ガス排出量取引の運用ルールなどは2021年の合意形成を目指すこととなります。

国内では、7月からレジ袋の有料化がスタートしました。エコバッグを持参しての買物が普通となり、広くプラスチック問題に対する国民的関心の端緒となるか、これからの啓発が

大切です。9月、新政権が発足し、首相所信表明で2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとすることが表明されました。温暖化や気候変動対策、海洋プラスチックの問題などは国際的な利害



林試の森公園 ヤブツバキ

を超えて協調し連携協力して取り組むことが不可欠です。大量の温室効果ガス排出国、プラスチック消費国である我が国の果たすべき役割はますます大きいと思います。

今、私たち生活者一人ひとりも、ライフスタイルを見直していくことが求められます。令和3年協会は、国内外の動きを的確に捉え、環境負荷の低減や資源の有効活用など環境にやさしく持続可能なライフスタイルの提案、普及・啓発に取り組むとともに、引き続き地域の環境保全活動団体への支援も行って参ります。

本年も皆様の変わらずのご支援、ご協力お願い申し上げます。

幡野 豊

お知らせ

海洋プラスチック問題の現状を知ろう

環境パネル展

「増えつつける海洋プラスチック」

海に流れたプラスチックごみの量は2050年には海で生きる魚の総重量を超えるといわれています。プラスチックごみはどこへ行くのか？ 私たちに出来ることは何か？ 今起こっていることをパネルで紹介します。

日時：令和3年2月1日(月)～5日(金)
10時～16時半

場所：中目黒GTギャラリー

(上目黒2-1-3中目黒GTプラザ地下1階)



開催中、プラスチック削減に関するアンケートを実施しています。ぜひご協力お願いします。



使い捨てのライフスタイル転換！皆で考えよう

座談会「レジ袋！有料化

「になってあなたの暮らしはどう変わった？」

レジ袋の有料化によって消費者に生じた気づきや生活への変化を話し合うことで、これからの資源・ごみ問題のあり方を探っていきます。「座談会」後はプラスチック問題に関するDVDを鑑賞します。



日時：令和3年2月2日(火)

14時～16時

会場：田道住区センター会議室

(田道ふれあい館3階)

座談会見学ご希望の方は、1月25日までにメールまたはFAXでお申し込みください。氏名・住所・電話番号・所属している環境活動団体名を記入して送信してください。

※詳細は別紙をご覧ください

お問い合わせ先
Eメール: eco@ecolife-meguro.org
FAX: 03-7711-2031(内線)

食品ロス削減に私たちができることを探ろう

フードドライブを実施します

「フードドライブ」とは、ご家庭で眠っている食品を持ち寄り、必要とする人に活用していただく、「食品ロス」を減らす取り組みです。

日時：令和3年1月29日(金),30日(土)
9時～15時

場所：目黒区エコプラザ



お持ちいただける食品

- ・レトルト食品（カレー・パスタソースなど）
- ・インスタント食品（ラーメン・スープなど）
- ・乾物（海苔・お菓子・乾麺など）
- ・缶詰（くだもの・肉・魚など）
- ・調味料（醤油・食用油・味噌・砂糖など）
- ・飲料（ジュース・コーヒー・お茶など）

※賞味期限が2021年4月以降の常温保存が可能な未開封の食品をお持ち下さい。
※包装や外装が破損しているもの、生鮮食品はお受けできません。

フードドライブ実施のご報告

令和2年10月23、24日に目黒区エコプラザでフードドライブを実施しました。ご協力をいただき、ありがとうございます。集まった食品は、274品、61.4kg。10月30日に目黒区内の福祉団体に寄付させていただきました。



ホームページに団体紹介を掲載しました

協会ホームページに、目黒区内の環境保全活動団体の活動を紹介するページを新たに設けました。現在多くの団体の皆さんの活動がコロナ禍のため制限されている状況で、活動内容や活動ポリシーを各団体が理解し合い、力を合わせて目黒区における環境保全活動が今後もより活発になるようお願い掲載しました。新たな活動のきっかけになれば幸いです。



消費生活グループによるパネル展に出展しました

令和2年10月7日～11月6日、消費生活センターにおいて消費生活グループパネル展が開催されました。「増え続ける海洋プラスチック」というタイトルで、海洋プラスチック問題の現状と私たちにできることを提案しました。



町会・自治会に環境啓発に関するアンケートを実施しました

目黒区内の町会・自治会に環境啓発のニーズを掴むことを目的に、アンケートを実施しました（81団体中56団体からご回答あり）。最も関心のある環境問題のテーマは、「地球温暖化問題」、次に「資源とごみ」、「食品ロス」、「プラスチック問題」と続きます。皆さんの環境問題に関する意識の高さが窺えます。「集まって会合やイベントを行うことが難しい時なので、創意工夫をした『環境にやさしい』行動やごみ捨てマナー向上に取り組んでいただきたいと思います」など環境啓発に関するご意見も多数いただきました。これを基に次年度からの講座などの啓発事業の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

めぐろスマートライフより

冬のコーディネートにご協力いただきました

「目黒区エコプラザリサイクルショップで見つけた冬のコーディネート」をテーマに、“古布de小物づくり”の上代さん、山本さん、永野さんにセンス抜群のコーディネートをしていただき、「めぐろスマートライフ」に掲載しました。「秋のコーディネート」に続き第2弾の企画です。ぜひご覧ください。



topics

みつろうラップ生活
はじめませんか

「みつろうラップ」は布にみつろうをしみこませたもので、手の温かさで柔らかくなり、お皿を覆うとぴたりくっつき、食品などを包むのにも便利です。洗って繰り返し使えるためごみ削減になります。協会オリジナルの簡単にできる手作りキットを作成しました。ぜひチャレンジしてみてください。



みつろうラップ手作りキット
300円（税抜）
目黒区エコプラザリサイクルショップで販売しています

協会会員コラム

私と着物とエコロジー

文：協力会員 永野澄江さん



和裁を始めたのは手芸と和裁が得意だった母の影響で、子どもの頃から縫物が大好きでした。定年まで会社勤めをし、その間もずっと和裁教室に通い、和裁検定や着物検定を取りました。

現在は、目黒区内にあるカルチャースクールで和裁講師をしています。生徒達は自分の縫いたい物を楽しんで縫っています。自分で縫った着物を着て出かけることができるのは、本当に楽しいことです。

また、「繕い物」の講師として大田区にある博物館で布を大切に作る技術も伝えています。

幸せなことに、目黒区エコプラザの「エコde何でもづくり隊」には複数の講座があり私も参加しています。「古布deつるし飾り」に参加して、着物の古布でつるし雛を姪等へ5セット作りました。「古布de小物作り」では主に古布で袋物を作りますが、最近は大島紬の端布でティディベアを作っています。「つく



つるし雛



小物作り 袋物とティディベア



つくりなおしカフェ
エプロンドレスと作務衣



つくりなおしカフェ
ベスト

りなおしカフェ」では古い着物で、ベスト・エプロンドレス・作務衣等を作っています。他区の友人達はエコの講座がある目黒区を羨ましがっています。

着物はエコです。着物好きと言うことで知り合いから着物を譲られることが多いですが、衿や袖丈等を自分サイズに直せば着ることができます。着物を解き洗って布に戻して、着物・羽織・コート等へ縫い直せば新品の様です。着用に適さなければ、服やバッグや小物へ活用できます。今は着物が簡単に手に入る一番贅沢な時だと思っています。この幸せな時を大切に着物のエコを楽しみたいです。

会員募集

エコライフめぐろ推進協会では、ボランティア活動を通じて支えていただく協力会員、資金面で支えていただく賛助会員、いずれも随時募集しています。協会のイベント情報、環境に関する様々な情報を「かたつむり通信」「エコプラザだより」などで提供しています。詳細は協会ホームページをご覧ください。